

「ごみ減量化に向けた啓発活動の連携」 (H19. 4～)

【幹事】 鹿児島県 環境林務部 廃棄物・リサイクル対策課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

目的

九州の豊かな自然環境を守り、将来に継承するため、ごみ減量化に向けて、住民に対する広報活動や啓発活動を各県共同で実施することで、その活動をより効果的なものにするとともに、経費の削減にもつなげる。

取組内容・成果

平成19年4月～24年3月「九州統一マイバッグキャンペーン」の実施

- 九州統一マイバッグキャンペーンをPRする「シンボルマーク」「標語」の募集。H19年度のみ
- 上記最優秀賞作品を活用した啓発ポスターの作成・配付。
- 10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施。
- レジ袋の削減に取組む「一斉行動参加店」の募集。(H20～23)
- ◎最終年度の実績:参加店数 6,164、レジ袋削減枚数 6,138枚、持参率 29.2%



九州統一マイバッグキャンペーン
シンボルマーク

平成24年4月～25年3月「ごみゼロ九州キャンペーン」及び「ごみの減量化」の意識調査

- ごみゼロ九州キャンペーンをPRする「シンボルマーク」「標語」の募集。
- 上記最優秀賞を活用した啓発ポスターの作成・配付。
- 九州7県の県民に対するごみの減量化に向けた意識調査の実施。(H24. 5～6)

ごみゼロ九州キャンペーン
シンボルマーク



「ごみ問題が発生する原因」は何ですか?【「ごみ減量化」の意識調査結果から】

- ① 大量生産・大量消費といった生活様式(33%)
- ② 修理(リペア)の取組不足(21%)
- ③ 再使用(リユース)の取組不足(17%)
- ④ 再生利用(リサイクル)の取組不足(17%)
- ⑤ ごみの分別等の適正処理の不足(9%)
- ⑥ その他(3%)

平成25年4月～「九州まちの修理屋さん事業」の実施

- 平成24年度の意識調査を基に、壊れたものを修理してくり返し利用する事を推奨する事業を開始。平成25年5月から、九州7県のPRキャラクター等を活用し、まちの修理屋さん登録店の募集及び広報を実施。
- 修理して大切に使っている「もの」のフォトエッセイコンテストを実施(H26)
- ◎登録店舗数(R6年1月末現在): 1,341店舗



店舗用ステッカー

平成28年4月～「九州食品ロス削減推進事業」の実施

- 食品ロス削減等に向けた事業者の取組を促進するとともに、各県民の意識啓発を図るための事業を開始。
- 食品ロス削減等に取り組む飲食店・小売店等を、「九州食べきり協力店」等として募集及び広報。(H28. 10～) ◎登録店舗数(R6年1月末現在): 3,259店舗
- 食品ロス削減啓発動画の作成(H29)
- 九州各県内の自治体実施する食品ロス削減に向けた施策を「九州食品ロス削減施策バンク」として登録及び広報。(H29. 12～)
- 食品ロス削減の統一PR(ポスターデザインの作成)事業(H30)
- 食品ロス削減の統一PR(スイングポップの作成)事業(H31)



店舗用ステッカー
(一部県では異なる)

平成31年4月～「九州7県の県民に対するごみの減量化に向けた意識調査」の実施

令和3年度～5年度「プラスチックごみ削減啓発事業」の実施